

## 8. 国立公園・動物保護区



## 国立公園・動物保護区

ケニアのサファリパークは、日本にあるそれとはスケールやその他の面でも全く異なっている。例えば、ツァボ国立公園は四国より広い面積を持っており、無数の動物が棲息している。有史以前から延々と受け継がれている弱肉強食の大自然のドラマを見ることが出来る。ケニア政府はその恵まれた大自然の環境や野生動物を保護する目的で40ヵ所の国立公園と動物保護区と国立保護区を決めている。

### 国立公園

管理官やロッジ従業員以外の居住が禁じられた、国が管理する特別指定地域。

### 動物保護区

動物と部族が共存している地域を地方自治体が管理し、その保護にあたる。

### 国立保護区

部族の住居はなく、野生の動植物を保護する目的で国が直接管理する。

それぞれには動物管理官とその下で働くレインジャー（動物監視官）がいる。またレインジャーは必要に応じてサファリガイドとして雇うこともできる。

### アンボセリ国立公園 (Amboseli N.P.)

ナイロビから南へ 230km。サファリカーで約3時間30分程の行程。万年雪を頂くアフリカ第一の豊峰キリマンジャロ山を背景に、大自然のドラマが展開されており、写真を撮るには最適な場所の一つ。面積は3270平方キロメートル。この地区の中心部は広大な半砂漠のようになっており、乾季にはよく蟹気楼がたち、雨期になるとこの辺一帯は浅い湖のようになる。ライオン、サイ、キリン、シマウマ、ゾウ、ゲレヌク、オオミミギツネ、アフリカ水牛、レイヨウ類などがよく見られ、運がよければチーターも見ることができる。これらの動物の背景に白雪輝くキリマンジャロ山を写し込むフォト・サファリの醍醐味は訪れた者の特権だろう。また公園の周辺には、古来の伝統をそのまま守って生活しているマサイ族の集落があり、そこを訪れてみるのもアンボセリの大きな魅力の一つになっている。ここからのキリマンジャロ山の眺めがもっとも美しい。

### マサイ・マラ動物保護区 (Masai Mara N.R.)

ケニアで最も数多く動物が棲息している地区。タンザニアのセレンゲティ国立公園と隣接しており、ビクトリア湖とグレートリフトバレーにはさまはた南西国境ぞいに位置している。面積は1800キロ平方メートルで大阪府とほぼ同じくらいの広さ。ナイロビの南西260km、サファリカーで約4時間の行程。この地区では、見渡す限りのサバンナに数万頭の

シマウマ、ヌーやガゼルなどのレイヨウ類、アフリカ水牛やゾウなどの大群がよく見られる。この保護区では熱気球に乗って上空からゆっくりと大草原や動物を眺めるバルーンサファリが人気を呼んでいる。熱気球は、気温が低くて微風の時に限られるので、早朝に出発する。浮遊高度は平均40~50mで、飛行は約1時間。熱気球はフィッグリッターロッジ、その他主なロッジに合計20基以上ある。

#### ナクル湖国立公園 (Lake Nakuru N.P.)

ナイロビ北西 150kmサファリカーで約2時間半の行程にあるナクル湖は、幅65kmに涉って落ち込んでいるグレートリフトバレー（地溝帯）に添っていくつかある湖の一つ。鳥類保護区としては世界的に誇れる湖で、湖一面ピンク色に化するほどの100万羽を超えるフラミンゴの大群やベリカン、サギなど100種類以上にも上る水鳥の宝庫である。バリンゴ湖、ボゴリア湖などでも多くのフラミンゴが見られる。

#### ツァボ国立公園 (Tsavo N.P.)

ナイロビの南東 360km。モンバサハイウェイを飛ばして約4時間半の行程。世界最大級の国立公園で面積は四国を一回り大きくしたぐらいの広さを誇り20618平方キロメートルもある。モンバサハイウェイをはさんでツァボ・イースト国立公園とウェスト国立公園に大別されている。この地区は数百頭のゾウの大群を見るチャンスが多いことで有名。赤土のため、ここにいるゾウは赤味を帯びているので、すぐツァボのゾウだと分かる。そういったゾウの大群を目の当たりに見るのは壮観。他にも、ライオン、バッファロー、サイ、マングース、ハイラックス等、レイヨウ類、鳥類などが見られる。面積が広いので、棲息している数が減少しているチーターやサイのめぐり合うには運が良くなければならない。ウェストにはキリマンジャロの雪解け水がわき出てできたムジマスプリングスがあり、泉の下手には大きな池と川になっている。ここでは必ず数十頭のカバを見られる。この他ワニや淡水魚などが棲息しており、その生態を水中に作ったガラスの展望室から観察できるようになっている。

#### サンブール国立保護区 (Samburu N.R.)

ナイロビの北約 300km。舗装された道路をサファリカーでケニア山の麗を走り抜け、イシオロ・バッファロー・スプリングスを経て、約4時間30分の行程。面積は100キロ平方メートルで、それほど広くないが、動物が多く棲息し、特にグレービーゼブラ、ゲレヌク、オリックス、ディクディクやアミメキリン、ソマリアダチョウなど珍しい動物が見られることで有名だ。

#### ナイロビ国立公園 (Nairobi N.P.)

ナイロビの町を一步出ると雄大なサバンナが広がり、南へわずか8kmサファリカーに乗って12、3分も走ればそこはもうナイロビ国立公園。面積は117平方キロメートル。ゾウを

除けばかなりの種類は見られる。遠くまでサファリに行く余裕の無い人には便利なサファリコースである。数多く見たいのなら、彼らが最も活動する朝6時～9時、夕方4時～7時の時間を選ぶ方が賢明。正門脇には、孤児になった動物達を育てている”動物孤児園”がある。

#### メルー国立公園 (Meru N.P.)

ケニア山の北東 100km。ナイロビからサファリカーで6時間ぐらいの行程。この国立公園は故ジョウ・アダムソンの”野生のエルザ”の故郷としても有名で、年間を通じて雨量が多く、一年中深い緑に被われている。また他の国立公園では味わえない徒歩サファリが楽しめる。広大な範囲にわたり車の乗り入れが一切禁止されている地域を熟練したレンジャーの護衛で、ポーターにテントや食料を担がせて何キロも歩く。指定場所でキャンプをして本格的サファリを味わえる。この地区ではケニアで見られる動物をほとんど見ることができ、絶滅に瀕している白サイを見ることがもできる。

#### ケニア山国立公園 (Mt. Kenya N.P.)

ナイロビの北 150km。サファリカーで約3時間走ると、標高5199mケニア最高峰の死火山がある。この地区はいわば山岳公園で、海拔3350m以上が国立公園に指定されている。頂上はバディアン峰、ネリオン峰の双子型になっており、いずれも専門のガイド付きで熟練した登山家なら登頂可能。期間は12月中旬から3月中旬まで、または6月中旬から10月中旬まで。この地区には東アフリカ随一豪華なマウント・ケニア・サファリがある。さまざまなスポーツ施設があり、いろいろな種類の野鳥や孔雀が遊んでいる。

#### アバーディア国立公園 (Aberdare N.P.)

ナイロビの北 160km。サファリカーで約2時間30分走ると、面積 767平方キロメートルの山地と森林が入り混じった、アバーディア山脈一帯を含む森林公園がある。滝や川や熱帯には珍しい高山植物があり、シロクロコロブスモンキーなどバラエティに富んだ野生動物が棲息している。そして他の公園ではまず見ることのできないボンゴを見られるのはここだけ。この地区には世界的にも有名な、ツリートップナホテルがある。ここは元来、動物研究の専門家が木の上に設けた箱のような観察小屋だったが、そのうち一般の旅行者も泊まり込むようになり、それが発展してユニークなロッジとなった。樹上のロッジは他にジ・アーク・ロッジがある。これらのすぐ下には塩やリン酸等の鉱物質を含む池になっていて、水を飲みに来る動物たちをロッジの中いながら観察することができる。夜、サーチライトに照らし出された動物たちの様子は実に神秘的だ。フロントに頼んでおけば、自分の見たい動物が来たら、真夜中でも知らせてくれる仕組みになっている。





JICA